

# ヴォクス・ポエティカ 古楽ワークショップ

演奏技術と表現、そしてアンサンブル音楽を磨き上げる過程に取り組みます

【日時】 2019年6月8日（土）、9日（日） 10時～18時

\*9日（日） 19時頃～ 受講者発表会

【会場】 えびらホール （東京都・旗の台駅より徒歩10分）

プライベートホールのため、受講者・聴講者にのみご住所をお伝えします



## 講師 ヴォクス・ポエティカ（Vox Poetica）

佐藤裕希恵（ソプラノ）／瀧井レオナルド（リュート属楽器／ギター）

二人は共にバーゼル・スコラ・カントルム（スイス）で学び、2014年にデュオを結成。佐藤はポズナン（ポーランド）や山梨の国際古楽コンクール第1位、マディソン（USA）のヘンデルアリアコンクール入賞を始め数多く受賞。瀧井はソリスト、通奏低音奏者として欧州を中心に活躍、2014年にサンパウロ州立音楽院でマスタークラス（リュート属楽器）を開催。ヴォクス・ポエティカとしてヨーロッパを中心にブラジル、日本で公演を行い、聴衆を魅了。2017年秋に日本に拠点を移し、2018年から国内での活動を本格的に開始。NHK FM『リサイタル・ノヴァ』出演、東京・大阪でのフェルメール展公式タイアップCD（キングレコード）に参加。同年11月にはハクジュホールで帰国&移住記念リサイタルを行い、好評を博す。

### 古楽アンサンブル

（声楽または  
リュートを含むもの）

- 声楽とリュート属楽器の両方、または片方を含む小編成アンサンブル。（2～5人程度）
- リュートのパートをギターで演奏することも可能。  
（例：ダウランドのリュートソング、リュートデュオのために書かれた作品など）
- 参加者内で当日アンサンブルを組むものではありません。アンサンブルとして取り組んだ作品をアンサンブルメンバーでお持ちください。
- 自由曲、2曲まで。

### リュート独奏

（ギターでの  
リュート作品演奏も可）

- リュート属楽器のために書かれたソロ作品、リュート独奏。
- リュート属楽器のために書かれたソロ作品の、ギター演奏も可能。  
（例：バッハ／ヴァイス／ダウランド／ムルシア／サンスなど）
- 自由曲。

### 声楽

（バロック時代の作品）

- バロック時代の西洋古楽声楽作品。自由曲、2曲まで。
- 下記に該当する作品は瀧井レオナルド（テオルボ/415Hz）が通奏低音を担当します。それ以外の作品（バロックオペラなど）は鍵盤奏者の方をご同伴ください。当日はキーボード（ローランド C200）をお使いいただきます。（鍵盤奏者の紹介が必要な方は個別にご相談ください。）判断が難しい作品については個別に相談させていただきます。  
【瀧井レオナルドが通奏低音を担当する作品】
  - モンテヴェルディ、カッチーニ、フェラーリなど初期イタリアバロックモノディ作品
  - 通奏低音と歌のために書かれた、17世紀のフランス宮廷歌曲
  - 出版された楽譜にテオルボで演奏することが提案されている作品

#### 【受講料金】

##### ①古楽アンサンブル

2日間受講 1組につき 15,000円

（1日受講 1組につき 9,000円）

※締め切りを過ぎた時点で空きがある場合のみ）

##### ②リュート独奏／③声楽

2日間受講 1名につき 13,000円

（1日受講 1名につき 8,000円）

※締め切りを過ぎた時点で空きがある場合のみ）

#### 【対象】

- 音楽大学学生及び卒業生、あるいは同等の実力のある方。
- 音楽愛好家の方は、これまでの音楽歴を明記してください。  
全3コース合わせて8組程度募集します。

※受講者の方には、最近の演奏の簡易録音を送っていただく場合がございます。  
※受講者多数の場合は、締め切り後選考の上受講者を発表させていただきます。

#### 【レッスン時間】 1コマ45分×2日間

#### 【聴講者】 各日15名程度募集（必ず事前にお申し込みください）

2日聴講 1名につき 5,000円

1日聴講 1名につき 3,000円

お申込み・詳細  
QRコードから  
ワークショップページへ



お申込み締め切り: 2019年4月30日

※希望者多数の場合、期日前に  
締め切らせていただく場合がございます

公式サイトワークショップ専用フォームよりお申し込みください

[www.voxpoetica-duo.com/workshop](http://www.voxpoetica-duo.com/workshop)

主催・お問合せ：オフィス・ヴォクス・ポエティカ

office.voxpoetica@gmail.com